

## ソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社(以下「弊社」といいます。 )は、本使用条件とともにご提供するソフトウェア・プログラム(以下「許諾プログラム」といいます。 )を、日本国内で使用する権利を下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。お客様が期待される効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

### 1. 期間

- (1) 本使用条件は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。
- (2) お客様は、1ヶ月以上事前に、弊社宛書面により通知することにより、いつにても本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつにても許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、本使用条件の規定に基づき、終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後直ちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

### 2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。
- (2) 許諾プログラムは、コンピュータの一時メモリ(例えば、RAM)にロードされ、または固定メモリ(例えばハードディスク、その他の記憶装置)にインストールされたときに、当該コンピュータにおいて使用されたものとします。
- (3) お客様は、前項に定める条件に従い日本国内においてのみ、許諾プログラムを使用することができます。

### 3. 許諾プログラムの複製、改変および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損等に備える目的でのみ許諾プログラムを1部複製することができます。ただし、許諾プログラムを固定メモリにインストールした場合またはプリインストール済みの場合、お客様は、許諾プログラムを複製することはできません。この場合、お客様は、弊社提供の許諾プログラムの記録媒体を滅失、毀損に備える目的で取り扱うものとします。
- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に、許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付すものとします。
- (3) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き、許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。
- (4) お客様は、いかなる場合であっても許諾プログラムとともに提供されたマニュアル等の関連資料を複製することはできません。
- (5) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

### 4. 許諾プログラムの移転等

お客様は、許諾プログラムまたはその使用権の第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転、またはその他の処分をすることはできません。

### 5. 逆コンパイル等

お客様は、許諾プログラムをリバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

## 6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題はお客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定にかかわらず、お客様による許諾プログラムのお受け取りの日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り(バグ)を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム(以下、これらのプログラムを「修正プログラム」といいます。)またはかかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正前1年以内に許諾プログラムをお受け取りになり、かつ許諾プログラムのすべてのお客様に対し当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量によりなした場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムとみなします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥(ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。)があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内に、かかる日付を記した本製品の領収書(またはその写し)を添えて、弊社に許諾プログラムを返却されたときには、弊社は当該記録媒体を無償で交換するものと(ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。)、これをもって記録媒体に関する弊社の唯一の保証とします。

## 7. 責任の制限

弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます。)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。また、弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任は、その法律上の構成の如何を問わず、お客様が実際にお支払いになった本製品の代金相当額を以てその上限とします。

## 8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本使用条件にかかわる紛争は、東京地方裁判所を専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

---

## ■目次

1. ツール起動媒体の作成
  2. 実行方法
  3. エラーメッセージ
-

## 1. ツール起動媒体の作成

FDまたは、N8160-86 Flash FDD（以降、“Flash FDD”と記載）を1つ準備し、以下の手順に従ってツール起動媒体を作成してください。

### 1. 1 ROM-DOS起動FD(またはFlash FDD)の作成

#### (1) EXPRESSBUILDERの起動

- ・周辺機器、Expressサーバの順に電源をONしてください。
- ・Expressサーバの光ディスクドライブへEXPRESSBUILDER媒体をセットしてください。
- ・リセットする(<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す)か、電源をOFF/ONしてExpressサーバを再起動してください。EXPRESSBUILDERが起動します。

#### (2) ROM-DOS起動FD(またはFlash FDD)の作成

以下に記すとおり、EXPRESSBUILDERのバージョンに応じたメニューを選択し、ROM-DOS起動FD(またはFlash FDD)を作成してください。

##### 2-1) EXPRESSBUILDER Version5の場合

- ・Boot selectionメニューから「Tool menu」→「Japanese」→「ROM-DOS Startup FD」の順にメニューを選択してください。
- ・以降は、画面に表示される指示に従い、ROM-DOS起動FD(またはFlash FDD)を作成してください。

##### 2-2) EXPRESSBUILDER Version4以前の場合

- ・EXPRESSBUILDERトップメニューから「ツール」→「サポートディスクの作成」→「ROM-DOS 起動ディスク」の順にメニューを選択してください。
- ・以降は、画面に表示される指示に従い、ROM-DOS起動FDを作成してください。

## 1. 2 BMCシステム情報パッチツール(オフライン版)のコピー

- (1) 1.1項で作成したFD(またはFlash FDD)をPCに挿入してください。
- (2) WebからダウンロードしたBMCシステム情報パッチツール(オフライン版)のファイルをPCの適当なディレクトリにコピーしてください。

ファイルの一覧は以下のとおりです。

ファイル名	サイズ(Byte)	タイムスタンプ
¥autoexec.bat	1,543	2010/06/03 15:23
¥config.sys	330	2010/05/21 11:24
¥delid¥CHKUID.EXE	38,876	2010/06/07 16:56
¥delid¥GETDID.EXE	38,500	2010/06/07 16:55
¥delid¥HWIDCHK.EXE	21,647	2010/06/07 16:55
¥delid¥IDCLR.bat	2,817	2010/06/10 11:12
¥delid¥INCHAR2.COM	2,913	1996/09/21 16:44
¥delid¥ipmicmd.exe	16,679	2002/04/18 10:18
¥delid¥keyjp.dev	25	2002/12/24 16:29
¥dos¥ramd.com	256	1995/01/12 00:00

- (3) (2)項のファイルをFD(またはFlash FDD)のルートディレクトリにコピーしてください。  
autoexec.bat、config.sysは、1.1項で作成したFD(またはFlash FDD)に既にありますが、  
上書きしてください。

## 2. 実行方法

以下の手順でBMCシステム情報パッチツール(オフライン版)を操作してください。

### (1) BMCシステム情報パッチツール(オフライン版)の起動

1項で作成したFD(またはFlash FDD)を装置に挿入し、装置を再起動してください。

### (2) リモートコンソールへの表示切替

リモートコンソール表示を行いたい場合は、以下のメッセージ表示中に“R”キーを押下してください。ローカルコンソールを使用している場合は、キー入力は不要です。数秒後に次の言語選択メニューを表示します。

```
+-----+
Starting ROM-DOS...
Press 'R' key if you want to operate from the remote console.
+-----+
```

### (3) 言語選択

以下のメニューで“1”キーを押下してください。

```
+-----+
Language selection
1: Japanese
2: English

Please input No.
+-----+
```

### (4) BMCシステム情報パッチツール(オフライン版)の実行

言語選択後、以下のメッセージが表示されます。

任意のキーを押下してプログラムの実行を開始してください。

```
+-----+
システム情報のパッチプログラムを適用します。

任意のキーを押してください。
+-----+
```

### (5) 終了メッセージ

プログラム終了後は以下の何れかのメッセージが表示されますので、作業を終了してください。

・パッチを適用した場合

```
+-----+
正常終了。
+-----+
```

- ・パッチ適用不要だった場合、若しくは適用対象外装置だった場合

```
+-----  
  本プログラムの適用対象  
  マシンではありません。  
  終了します。  
+-----
```

- ・適用対象外装置だった場合 (SMBIOS構造体が見つからない)

SMBIOS Structures are not found.

### 3. エラーメッセージ

- (1) Baseboard Management Controller(BMC)へ正しくアクセスできなかった場合、または、BMCの応答結果が異常だった場合

```
IPMI COMMAND ERROR.  
CMD name : xxxxxxxx  
ErrorCode = yy
```

#### <対処>

BMC障害の可能性があります。ハードウェアに異常がないか保守員にご相談ください。

以上